

マロニエ文化学びのひろば  
考古学セミナー  
～とちぎ県民カレッジ連携講座～

# とちぎの 国指定史跡

根古谷遺跡(宇都宮市)



各講座ともこのテキストを使います。  
最初に受講する時にお配りします。



下野国分僧寺・尼寺相像図(下野市)



那須八幡塚古墳(那珂川町)

栃木県には、縄文時代から近代まで国指定史跡が36ヶ所あります。これらは、指定以来その原型を大きく変えず保存されているもの、史跡公園として整備し関連イベントを行い賑わっているものなど、保存や活用の状況はさまざまです。

これらの国指定史跡の重要性・見所を埋蔵文化財センター職員がわかりやすく解説します。

## プログラム

第1回 10月29日⑤ 「国指定史跡概要と縄文時代の大遺跡」

第1会議室

(財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター  
普及事業担当 副主幹 後藤 信祐

第2回 11月12日⑤ 「那須の古墳群と下野の古墳群」

第1会議室

(財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター  
整理第二担当 主査 谷中 隆

第3回 11月19日⑤ 「古代の官衙と官寺」

第1会議室

(財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター  
調査第二担当 主査 吉田 哲

第4回 12月10日⑤ 「中世の城館—足利氏・小山氏・宇都宮氏・那須氏—」

第1会議室

(財)とちぎ未来づくり財団埋蔵文化財センター  
管理部長兼調査部長 初山 孝行

会場 栃木県総合文化センター

開催時間 13:30~15:30

受講回数 セミナーは全4回ですが、1回のみ  
の受講でも受け付けます。

募集定員 各回100名程度

受講料 無料

主催 (財)とちぎ未来づくり財団

お問合せ

(財)とちぎ未来づくり財団 総務企画課  
☎028-643-1011 (平日9:00~17:00)

※応募方法については裏面をご覧ください。

**平成23年度生涯学習セミナー「マロニエ文化学びのひろば」  
考古学セミナー「とちぎの国指定史跡」 アンケート結果より  
第1～4回 受講者数138名 回答者数63名 回答率45.7%**

**(Q1)お住まい**

宇都宮市内	35名	55.5%
宇都宮市外	26名	41.3%
県外	1名	1.6%
回答なし	1名	1.6%

**(Q2)応募した動機についてお答えください。(複数回答可)**

趣味・教養のため	53名	84.1%
職業に生かすため	1名	1.6%
地域活動やボランティア活動に生かすため	9名	14.3%
自ら取り組む学習対象を探すため	10名	15.9%
余暇の活用のため	19名	30.2%
その他		
回答なし	1名	1.6%

**(Q3)1講座あたりの回数(回)についてお答えください。**

適当だった	51名	81.0%
多かった		
少なかった	5名	7.9%
回答なし	7名	11.1%

**(Q4)講座全体を通しての満足度についてお答えください。**

満足できた	21名	33.3%
概ね満足できた	35名	55.6%
あまり満足できなかった	2名	3.2%
満足できなかった		
回答なし	5名	7.9%

**〈御意見〉**

- 1講座を8時間くらいやって欲しい。
- もう少し専門的な講義にして欲しい。
- 午後からの開催が有り難かった。
- 開催時期を5～7月にして欲しい。(冬場は日が短いので)
- 会場後方では音声が聞こえにくかった。
- 初心者にはとても良い内容だった。
- 講義の時間配分をきっちりして欲しい。(最後の頃は話が雑になってしまう)
- 栃木県が身近に感じられ、とても興味がわきます。今後も楽しみにしています。
- 来年度「考古学セミナー」で実施してほしいテーマ
  - ・バスによる史跡めぐり・古代郷土の村落形成、中央との関係(発掘資料等を通して)・下野の土器編年
  - ・古墳の変遷・前、中、後、終末期と下野・古墳について・古墳埋蔵品の模様や文字・古墳石室の壁画
  - ・近県の古墳の解説、現地視察・概論から各論へ・遺物から見る仕事の歴史・有名遺跡や風土記の見学
  - ・「考古学基礎講座」(例:考古学で使う記号など)・古墳の型からみえる中央及び周囲とのつながり
  - ・古代の各時代の栃木県の庶民の暮らし(縄文・弥生、古墳、奈良、平安)・中世の史跡、城館
  - ・中央と地方の関係・古代から現代までの民俗文化・最近の発掘調査の成果・集落跡、窯跡等の遺構別の話
  - ・土器等生活用具、寺院、神社、古墳、道等建築の内容と発達